

日曹セルカディス® D フロアブル

SERCADIS D

登録番号 第24315号

種類名 ジチアノン・フルキサピロキサド水和剤
dithianon・fluxapyroxad

殺菌剤分類 M9, 7

性状 褐色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4年

有効成分 ジチアノン 42.0%、フルキサピロキサド(通称ゼミウム®) 4.7%

毒性 医薬用外劇物

包装 333mℓ ×20本

■特長

- セルカディスDフロアブルは新規SDHI剤の「ゼミウム®」と、多作用点殺菌剤「ジチアノン」を混合した果樹用殺菌剤です。
- 作用の異なる2成分の混合剤であり耐性菌管理にも有効です。
- ゼミウムは高い浸透性を持ち、ジチアノンとの本混合剤は優れた残効性を有します。
- 安定した予防効果と優れた治療的効果で主要病害に高い効果を発揮します。



■適用病害名及び使用方法

(2023年12月20日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ジチアノンを含む農薬の総使用回数	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	そうか病 黒点病 灰色かび病	1,000 ~ 1,500	200 ~ 700	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	3回以内	散 布
りんご	モニリア病 黒星病 斑点落葉病 黒点病 褐斑病 うどんこ病 赤星病 炭疽病 輪紋病			収穫60日前まで				
なし	赤星病 黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病 炭疽病	1,500	200 ~ 700	収穫7日前まで	5回以内	2回以内	2回以内	
もも	灰星病 黒星病			収穫14日前まで	2回以内			
ネクタリン	ホモプシス腐敗病 縮葉病 せん孔細菌病							
うめ	黒星病 すす斑病							

⚠️ 効果・薬害などの注意

- 使用前に当たっては容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。

5. かんきつに使用する場合は次のことに注意してください。
 - (1) 開花期以降のマシン油乳剤との混用散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また開花期以降に使用する場合には、マシン油乳剤との散布間隔を30日程度あけてください。
 - (2) 夏期以降の散布は果皮に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
 - (3) 収穫後長期間貯蔵する中晩柑に使用する場合は、貯蔵中、果皮に斑点が発生することがあるので、散布をさけてください。
6. りんごの展葉後に降霜があった場合、本剤を開花中に使用すると花卉に薬害を生じるおそれがあるため散布をさけてください。
7. ハウス栽培のなしに対しては、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
8. 機能性展着剤（アプローチBIなど）の加用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
9. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
10. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
11. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

▲ 安全使用上の注意    

12. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
13. 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
14. 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
15. 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
16. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
17. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
18. 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。

水産動植物への影響：水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：直射日光をさけ、食品と区別して、カギのかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。